日本型「社会内処遇」の本質と展開
―起訴猶予に伴う再犯防止措置等の批判的検討―

九州大学名誉教授　内田　博文

一　保護観察制度の廃止と再出発

１．思想犯保護観察法の制定
２．転向による執行猶予
３．思想犯保護観察法の廃止と保護観察制度の復活
４．新少年法の制定と保護処分

二　刑法全面改正作業と保安処分

１．犯罪者予防更生法と戦後更生保護の再出発
２．更生緊急保護法と刑法の一部改正、執行猶予者保護観察法
３．刑法全面改正作業の挫折

三　日本型保安処分の強化

１．社会が担う保護観察
２．満期釈放後の保護観察
３．更生保護法

四　法制審議会少年法・刑事法部会「中間報告」

１．中間報告の概要
２．中間報告の特徴
３．起訴猶予等に伴う再犯防止措置
４．共謀罪の成立

五　ルビコン川を渡る

【講師プロフィール】

九州大学名誉教授　内田　博文（うちだ　ひろふみ）　氏

＜経歴＞

1971 年 3 月、京都大学大学院法学研究科修士課程を卒業。

愛媛大学法文学部講師、神戸学院大学法学部講師、助教授、教授を歴任

1988 年 4 月～2010 年 3 月　九州大学法学部教授

2010 年 4 月～2017 年 3 月　神戸学院大学教授

＜著書＞

『刑法学における歴史研究の意義と方法』（1997 年、九州大学出版会）

『求められる人権救済法の論点』（2006 年、部落解放人権研究所）

『ハンセン病検証会議の記録--検証文化の定着を求めて』（2006 年、明石書店）、

『日本刑法学の歩みと課題』（2008 年、日本評論社）

『冤罪--福岡事件』（2011 年、現代人文社）

『刑事判例の史的展開』（2013 年、法律文化社）

『歴史に学ぶ刑事訴訟法』（2013 年、法律文化社）

『自白調書の信用性』（2014 年、法律文化社）

『更生保護の展開と課題』（2015 年、法律文化社）

『刑法と戦争』（2015 年、みすず書房）

『治安維持法の教訓』（2016 年、みすず書房）

『治安維持法と共謀罪』（2017 年、岩波新書）

など多数。